

外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議幹事会（第2回）

議事概要

日 時：令和元年6月10日（月）09:45～10:05

場 所：官邸2階小ホール

出席者：杉田 内閣官房副長官〈議長〉、和泉 内閣総理大臣補佐官〈副議長〉、古谷 内閣官房副長官補〈副議長〉、兼原 内閣官房副長官補〈副議長〉、佐々木 出入国在留管理庁長官〈副議長〉〈司会・進行〉、青木 内閣官房内閣審議官（内閣官房副長官補付）、平井 内閣官房日本経済再生総合事務局次長【代理出席】、伊藤 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局地方創生総括官補、海堀 内閣府政策統括官（防災担当）、森山 内閣府地方創生推進事務局次長、川嶋 内閣府知的財産戦略推進事務局次長【代理出席】、小野田 内閣府子ども・子育て本部統括官、藤村 警察庁刑事局組織犯罪対策部長、栗田 金融庁監督局長、高田 消費者庁政策立案総括審議官、宮地 総務省大臣官房総括審議官、高嶋 出入国在留管理庁次長、垂 外務省領事局長、井内 財務省大臣官房審議官【代理出席】、大山 文部科学省国際統括官、土屋 厚生労働省職業安定局長、大澤 農林水産省経営局長、風木 経済産業省経済産業政策局審議官【代理出席】、栗田 国土交通省総合政策局長、山本 環境省環境再生・資源循環局長
（以下、オブザーバー）藤本 内閣官房健康・医療戦略室次長、窪田 内閣府規制改革推進室次長

1. 議事

- （1）特定技能制度の運用状況について
- （2）外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策の充実について

2. 配布資料

資料1 特定技能制度の運用状況について

資料2-1 外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策の充実について（案）（概要）

資料2-2 外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策の充実について（案）（本文）

資料2-3 外国人共生センター（仮称）について

資料2-4 厚生労働省資料

資料2-5 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局資料

資料2-6 金融庁資料

3. 議事内容

- （1）法務省から資料1について説明があった。
- （2）法務省から資料2-1から2-3までについて、厚生労働省から資料2-4について、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部から資料2-5について、金融庁から資料2-6について、説明があった。
- （3）出席者から、下記のような意見があった。
 - ・外国人共生センターについて、関係機関を単に一箇所にまとめるだけでなく、運用面においてもしっかり連携すること。

- (4) 「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策の充実について」を、資料2-2のとおり決定した。
- (5) 杉田内閣官房副長官から下記のような発言があった。
- ・ 4月から、新たな外国人材を受け入れる、特定技能制度が始まった。制度が適正に運用されるよう、引き続き万全の態勢で臨んでいただきたい。
 - ・ 本日の幹事会において、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策の充実について」を決定した。各位にあっては、引き続き、施策を政府一丸となって、着実に推進していただきたい。

以 上